

## 《 講 評 》

本プロポーザルの審査は、学識経験者及び本市職員の合計8名で構成された設計者選定委員会において厳正かつ公正に行いました。

評価方法は、業務実績、業務実施体制、技術提案内容、取組意欲などの評価項目・基準に基づいた各委員による採点方式としました。

技術提案書では、津市における屋内スポーツの拠点施設として、本格的な競技大会から市民の多様なスポーツ活動まで幅広いニーズにいかに対応するか、また、機能性や経済性、地域性に配慮し、隣接する既存展示場といかに連携を図るかなどについて提案を求めました。

最終的に技術提案書の応募は8者からありましたが、各者とも豊富な実績を有し、本業務を遂行するにあたっては、多分野の専門的知識を有する人材を結集した組織体制を構築することが示されていました。

技術提案は、いずれも基本計画の内容を十分に理解された上で、各者に蓄積されたノウハウを多分に盛り込んだ密度高いものでありました。敷地条件の制約もあり施設構成の考え方にはあまり差異はみられませんでした。アリーナを覆う大屋根のデザイン、動線の設定方法や共用空間の工夫などにおいて各者の特徴が表れていました。

審査方法は二段階方式で行い、第1次審査で5者に絞ったのち、第2次審査のヒアリングを経て採点及び審議した結果、総合的に評価得点の最も高かった株式会社日建設計名古屋オフィスを委員の総意として最適候補者に特定しました。

契約締結後には今後のタイトな基本設計業務にも十分対応し、優れた設計案にまともていただけるものと確信しています。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間と労力を費やし御応募いただいた提案者の皆様に敬意を表し、心より感謝いたします。

平成23年12月20日

津市屋内総合スポーツ施設設計者選定委員会  
委員長 木 下 誠 一